

# 子育て世代 の強い味方



日本共産党 前三芳村議  
**みぞぐち 仁**

三芳の宝、子育て支援を  
実現してきました

## 出産一時金を増額 村独自の奨学金も

20万円ではじまった出産一時金。みぞぐち前村議は、国保の積立金の利子を活用して増額することを提案し30万円に。その後36万円になり、たいへん喜ばれました。

1995年に村独自の奨学金を提案し、2000年にスタート。入学資金30万円、月3万円まで無利息で、大学生を抱える家庭の負担を減らしました。

## お母さんたちと力を合わせて 学童保育を実現



「お父さんもお母さんも働いていて、子供たちの放課後の面倒が見られない・・・」みぞぐち前村議が1996年に学童保育を提案し、2年後に村直営で実現し、同時に保育料も引下げさせました。

## 幼稚園給食も実現

「お母さんたちの切実な願い、幼稚園給食を」と議会に声を届け、1997年から実施されました。



## 「ブックスタート」

幼稚園入園時に本をプレゼント。小さいときから本に親しむ手助けをと、議会で取り上げて実現しました。

## 乳幼児医療費の無料化 村独自の補助教員も

6歳までの医療費は、お医者さんの窓口で2000円を払えばあとは無料。県内で最もすすんだ三芳村独自の制度。  
はじめは、いったん窓口で医療費を支払い、領収書を役場に持って行って申請するという、使いづらい制度でしたが、みぞぐち前村議のねばり強い要求で便利になりました。  
1998年には「30人学級を」の請願が出され、みぞぐち前村議のがんばりで補助教員が採用されました。



## 二男の父親として

みぞぐち仁前村議は男の子二人のお父さん。送り迎えをしていた子供たちも、もう中学生になりました。

合併で三芳の宝がズタズタに！  
新市では「子育て支援をもとに戻せ」とがんばります